

「持続可能な開発」の定義、内容の例

1 「我ら共有の未来」(Our common future) (1987年 環境と開発に関する世界委員会)

持続可能な開発とは

将来世代のニーズを満たす能力を損なうことが無いような形で、現在の世代のニーズも満足させるような開発

2 新世界環境保全戦略 (Caring for the earth) (1991年 国際自然保護連合、国連環境計画、世界自然保護基金)

持続可能な開発の定義

人々の生活の質的改善を、その生活支持基盤となっている各生態系の収容能力限度内で生活しつつ達成すること

持続可能な社会の基本原則

- 1 生命共同体を尊重し、大切にすること
- 2 人間の生活の質を改善すること
- 3 地球の生命力と多様性を保全すること
- 4 再生不能な資源の消費を最小限に食い止めること
- 5 地球の収容能力を超えないこと
- 6 個人の生活態度と習慣を変えること
- 7 地域社会が自らそれぞれの環境を守るようにすること
- 8 開発と保全を統合する国家的枠組みを策定すること
- 9 地球規模の協力体制を創り出すこと

3 持続可能な開発に関するヨハネスブルク宣言 (2002年 持続可能な開発に関する世界首脳会議 (WSSD))

(抜粋)

我々は、万人にとって人間の尊厳が必要であることを認識し、人間的で公正でかつ思いやりのある地球社会を建設することを公約する。

我々は、持続可能な開発の相互に依存し、かつ補完的な支柱、すなわち、経済開発、社会開発及び環境保護を、地方、国、地域及び世界レベルでさらに推進し強化するとの共同の責任を負う。